学校番号	1004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	小論文演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	大学入試・小論文　ジャンル別キーワード解説　五訂版　（桐原出版） 大学入試・小論文　ジャンル別キーワード解説　五訂版　準　（桐原出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てましょう。
・自分自身や他者との関わり方、社会や自然との向き合い方を考えるとともに、思考力を伸ばし、多角的なものの見方ができるようになりましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を取り入れた授業を行います。現代に生きるみなさんの課題を発見する中で、自己の強みも見つけていきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や、自分の考えを多彩に表現するために必要な語句を身に付けようとしている。また、読書を通して、自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにしようとしている。	「話すこと・聞くこと」の領域において、自分の主張の合理性が効果的に伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、互いの主張を吟味し考えを深めようとしている。また、「書くこと」の領域において、読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を配置し、読み手の助言などを踏まえて、自分の文章の課題を捉えようとしている。	言葉によって新しい考えを生み出し、言葉から感じたことで心を豊かにするとともに、具体的言語活動の中で、相手、意図、状況などに応じて、どのように話すことが適切であるかを直観的に判断したり、使われている言葉が醸し出す味わいを感覚的に捉えようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自己紹介	自己のゴールを考え、目標を発表する。 ［教材］ 自己プレゼンテーション計画書	a: 言葉には自己と他者との相互理解を深める働きがあることを理解している。 b［話・聞］:自分の思いや考えを伝え、深く共感したり豊かに想像したりする力を他者との関わりの中で伸ばしている。 c:自己の考えを形成したり新しい考えを生み出したりし、自他の存在について理解を深めようとしている。	構想シート	構想シート	発表評価表
	情報収集	テキストから興味のある分野を探し、インターネットや新聞を用いて、考えを深める。 ［教材］ 3 分発表採点表	a:実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 b［ 書 ］:設定した題材について、多様な資料を集め、調べたことを整理し、自分の意見をまとめている。 c:言葉を通して、社会に関わろうとするとともに、思いや考えを伝え合おうとしている。	計画書	発表用シート	ふりかえりシート 採点表
	表現のルール	縦書き横書きのルール、読点のルール、表現における悪文等を知り、文章校正の留意点を理解する。 ［教材］ 縦書き横書きのルール 文章表記のルール 敬語のルール	a:実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、書き言葉の表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。 b［ 書 ］:自分の考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現の仕方を工夫している。文法的な整合性や表記の正誤を検討している。 c:言葉を通して、現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き、理解しようとしている。	ワークシート 敬語テスト	ワークシート	ワークシート
	小論文①	主題提示型、問題解決型の小論文を書く。	a:実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 b［ 書 ］: 自分の考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりす	ワークシート	ワークシート	ワークシート

		［教材］ 主題提示型(縦書き) 問題解決型(横書き)	るなど、表現の仕方を工夫している。 c:言葉を通して、現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き、理解しようとしている。			
	志望理由書	自分の興味を社会的意義につなげ、志望理由を文章化する。 ［教材］ 志望理由書完成のステップ	a:実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 b［ 書]:言葉にまとめることができないでいる思いを尊重し、互いに良さを見つけ合ったり、助言し合ったりする。 c:言葉を通して、社会に関わろうとするとともに、思いや考えを伝え合おうとしている。	Goal シート	ワークシート	推敲シート
2学期	自己PR	社会と関わることにおいて、自己の長所を知り、文章化する。 ［教材］ 自己 PR 文完成のステップ	a: 自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにし、実社会に必要な国語の知識や技能を深めている。 b:［ 書]: 読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように書かれているかを吟味し、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の課題を捉え直している。 c:言葉を通して、社会に関わろうとするとともに、思いや考えを伝え合おうとしている。	ワークシート	ワークシート	推敲シート
	面接練習	質問項目を考え、面接官を交代しながら模擬面接を行う。 ［教材］ 面接対決の順序	a: 言葉には自己と他者との相互理解を深める働きがあることを理解している。 b [話・聞]:自分の思いや考えを伝え、深く共感したり豊かに想像したりする力を他者との関わりの中で伸ばしている。 c:自己の考えを形成したり新しい考えを生み出したりし、自他の存在について理解を深めようとしている。	面接シート	面接シート	面接採点シート
	小論文②	データ型の小論文を書く。	a:実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 b［ 書]: 読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展	ワークシート	ワークシート 相互評価	ワークシート

		［教材］ ジャンル別キーワード 「資料から考える」より 四字熟語	開を考える。 c:言葉を通して、現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き、理解しようとしている。			
	ディベート	現代の課題について興味のあるテーマを決め、賛否に分かれて意見をまとめ、聴衆により勝敗を決める。 ［教材］ ディベート対決とは テーマ決め 事前シート	a:自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにする。 b ［話・聞］:自分の思いや考えを伝え、深く共感したり豊かに想像したりする力を他者との関わりの中で伸ばしている。 c:言葉を通して、現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き、理解しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 勝敗用 付箋
3学期	小論文③	問題解決型の小論文を書く。 ［教材］ 入試小論文 新書(図書館)	a:実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 b［ 書 ］: 自分の考えを明確にし、文章全体を俯瞰して捉え、アイディアに肉付けをしたり、無駄な表現を削ったりする重要さを自覚している。 c:言葉を通して、現代社会における様々な問題の解決に資する言語の価値に重点を置き、理解しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	新聞を読む	意見文を読み、筆者の主張の要旨をまとめ、現代社会で問題となっていることについて考えを深める。 ［教材］ 天声人語	a:実用的な文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 b［ 書 ］:日々の報道やインターネットを活用し、図書館などで必要な情報を収集、選択を行い、調べた情報の信頼性や妥当性を確かめていく。 c:現代社会の話題や問題に幅広く関心を持ち、社会人として、考えやものの見方を豊かにしようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準b［ ］について…括弧内には［ 話／聞、書、読 ］のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　12　）時間
・書くこと　…　（　32　）時間
・読むこと　…　（　　）時間